

2024年度(令和6年度)子どもが主体となった体力向上計画

福山市立手城小学校

2024年度(令和6年度) 新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	61.9	23.8	9.5	4.8
女子	56.5	28.3	8.7	6.5

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	64.3	28.6	7.1	0.0
女子	58.7	30.4	10.9	0.0

運動やスポーツをどのくらいしていますか
(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1～2日 くらい	月に1～3日 くらい	しない
男子	42.9	35.7	14.3	7.1
女子	21.7	45.7	19.6	13.0

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	17.02	19.93	34.53	41.20	39.76	9.47	161.91	21.02	53.93

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
女子	15.78	18.55	34.33	38.94	37.27	9.70	154.29	12.69	54.04

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」では、嫌いという児童が10%を超えている。要因として、①高学年を中心に外遊びなど体を動かす機会が減少し、体育の学習以外での体力向上の取組みが減少している。②1日あたりのテレビ視聴時間、スマホ・ゲームの時間の増加と共に運動時間が減少していることが考えられる。また、「運動やスポーツをどのくらいしていますか」では、しない・月に1～3日の児童が20%を超えていることから、家庭でも運動する機会が少ないことから、運動をすることが嫌いになっているのではないかと考える。

体力面

・男子は20メートルシャトルラン、女子は長座体前屈、ボール投げが平均を下回った。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・運動領域に応じた準備運動を行い、領域の授業で運動量を増やす。
- ・重点課題種目を意識した準備運動やおにごっこなどの簡単なゲームを行う。
- ・イメージを持たせるために、モデルを示す。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・児童会・体育委員が企画した「運動遊び」や「サーキット遊び(俊敏性や柔軟性を高める運動)」を通して、外遊びや体を動かす楽しさを味わわせる。
- ・休憩時間に学級ごとに、学級レクなど学級全体で体を動かす機会をふやす。
- ・自分のペースで運動の楽しさや達成感を味わわせるために、運動する場や時間を設定する。

2025年度(R7年度)の
重点目標値

- ・運動やスポーツを週に1回以上している児童を80%以上にする。
- ・長座体前屈において男女ともに県平均を上回る。